

事業所名

みらいちず武

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

16日

法人（事業所）理念		私たちは、優しい心を常にもち、自ら学び、こども目線で考え、行動します。						
支援方針		これまでの人生の地図を考えてきた大人が、これからの「みらいのちず」を考え、進んでいくお子さまに寄り添い、成長のサポートをします。						
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・1日型の特徴を活かし、身辺自立（準備、片付け、排泄、食事、着替え、歯磨き等）を促して、支援を行っていく。 ・静と動のバランスをとり、心身の健康を促す支援を行っていく。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での遊びや活動、室内での体操（KOBASトレ、遊戯）や運動系の活動等、室内外問わず様々な体を動かす活動をプログラムの中に組み込み、運動能力（体力、運動機能、体幹等）を養える、支援を行っていく。 ・活動や普段の生活の中で、触覚、視覚、聴覚を意識し、感覚統合を促すような声かけや支援を行っていく。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚指示や随時声かけ、ふりかえりを行い、理解力を高めたり、対応力を身につけられるよう支援を行っていく。 ・子ども達自身の気持ちを受け止めながら、無理のないよう望ましくない行動や言動等軽減していき、子どもの特性に合わせてスモールステップでの成長を促す支援を行っていく。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団で過ごす中で、支援者や友だちとのやりとりを楽しみながら言語やコミュニケーション能力を身につけていけるように支援を行っていく。 ・専門的に個別での支援を行っていく。（言語聴覚士や保育士等） ・小集団で言語理解や、言葉の表出に繋がる活動を行っていく。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者や友だち等、安心できる存在がいる中で、人との関わり方や、社会性を身につけていけるように支援を行っていく。 ・課外活動や近所の方々とふれあいの中で、様々な人や物事にふれ、社会の視野を広げていけるよう支援を行っていく。 ・支援者が見本となり、子ども達が積極的に模倣したくなるような言葉かけや働きかけを行っていく。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅送迎の場合は直接相談や情報共有を行う。 ・普段保護者に直接会えない場合は、連絡アプリや電話連絡等で、相談や情報共有を行う。 ・保護者自身や兄弟などの困り感の確認や、育児を楽しんでいるようなアプローチを行っていく。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・本児に関する施設（保育園、幼稚園、認定こども園、児童発達支援、相談支援専門員、教育委員会等）や、就学に向けた関係先と情報共有し、保護者の意思等ふまえ、スムーズな就学への移行ができるようにしていく。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・本児に関わる施設（保育園、幼稚園、相談支援専門員、教育委員会等）に加えて、近所の方々と関連施設等との関わりやふれあいを積極的に行い、社会的視野を広げていけるよう取り組んでいく。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な会議や研修、毎日の支援のふりかえり等を行い、情報共有や質の向上を図っていく。 ・職員自身の心身の健康に努めていく。 	
主な行事等		（4月～8月） ・花見（桜） ・メルヘン館 ・ピクニック ・こどもの日の集い ・消防署見学 ・おはなし会 ・プール開き ・七夕会 ・水族館 川遊び （9月～12月） ・夏祭り ・農業体験 ・運動会 ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会 ・餅つき ・花見（コスモス） ・動物園 （1月～3月） ・初詣 ・凧揚げ大会 ・科学館 ・親子遠足 ・豆まき ・買い物体験 ・ひなまつり						